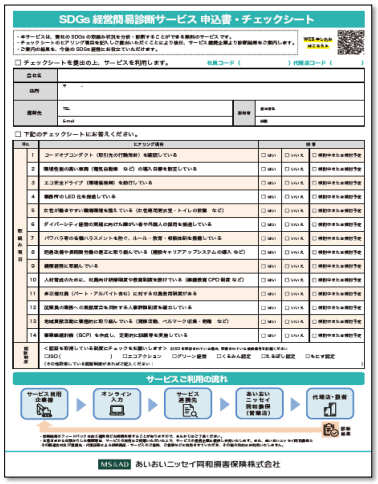
6. SDGsの取組を始めるステップ

（１）自社の現状を知る～SDGs経営簡易診断サービス

【SDGs経営簡易診断サービス】 ※あいおい社ツール（無料）



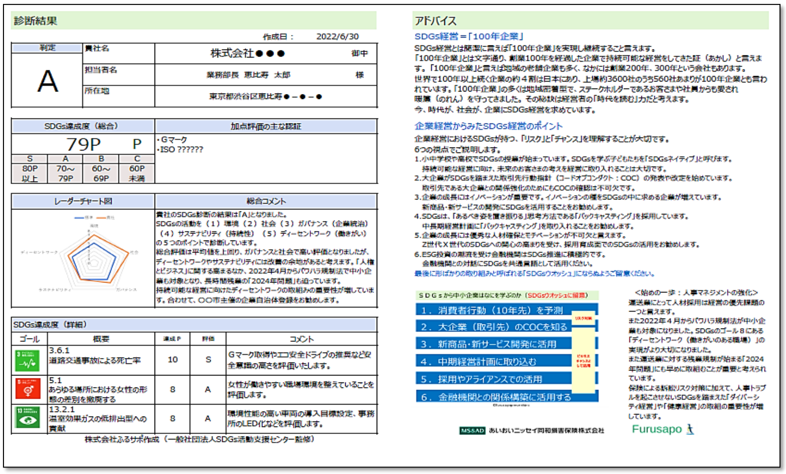
◇14個の質問からオンライン上で簡単にチェックが可能

◇SDGs専門のコンサルティング会社作成の「SDGs経営簡易診断結果報告書」により、自社の取組状況を項目毎に確認可能

SDGsに取り組む第一歩として、自社の現状を知る

（１）自社の現状を知る～SDGs経営簡易診断サービス

【SDGs経営簡易診断結果報告書】 ※あいおい社ツール（無料）



診断結果

作成日： 2022/6/30

判定	貴社名	株式会社●●● 御中
A	担当者名	業務部長 恵比寿 太郎 様
	所在地	東京都渋谷区恵比寿●－●－●

SDGs達成度（総合）				加点評価の主な認証
79P			P	・Gマーク ・ISO ??????
S	A	B	C	
80P以上	70～79P	60～69P	60P未満	

レーダーチャート図	総合コメント
	貴社のSDGs診断の結果は「A」となりました。 SDGsの活動を（１）環境（２）社会（３）ガバナンス（企業統治）（４）サステナビリティ（持続性）（５）ディーセントワーク（働きがい）の５つのポイントで診断しています。 総合評価は平均値を上回り、ガバナンスと社会で高い評価となりましたが、ディーセントワークやサステナビリティには改善の余地があると考えます。「人権とビジネス」に関する高まるなか、2022年4月からパワハラ規制法で中小企業も対象となり、長時間残業の「2024年問題」も迫っています。 持続可能な経営に向けたディーセントワークの取組みの重要性が増しています。合わせて、〇〇市主催の企業自治体登録をお勧めします。

SDGs達成度（詳細）

ゴール	概要	達成P	評価	コメント
3	3.6.1 道路交通事故による死亡率	10	S	Gマーク取得やエコ安全ドライブの推奨など安全意識の高さを評価いたします。
5	5.1 あらゆる場所における女性の形態の差別を撤廃する	8	A	女性が働きやすい職場環境を整えていることを評価します。
13	13.2.1 温室効果ガスの低排出型への貢献	8	A	環境性能の高い車両の導入目標設定、事務所のLED化などを評価します。

株式会社ふるサポ作成（一般社団法人SDGs活動支援センター監修）

アドバイス

SDGs経営＝「100年企業」

SDGs経営とは簡潔に言えば「100年企業」を実現し継続すること言えます。
「100年企業」とは文字通り、創業100年を経過した企業で持続可能な経営をしてきた証（あかし）と言えます。「100年企業」と言えば地域の老舗企業も多く、なかには創業200年、300年という会社もあります。
世界で100年以上続く企業の約４割は日本にあり、上場約3600社のうち560社あまりが100年企業とも言われています。「100年企業」の多くは地域密着型で、ステークホルダーであるお客さまや社員からも愛され暖簾（のれん）を守ってきました。その秘訣は経営者の「時代を読む」力だと考えます。
今、時代が、社会が、企業にSDGs経営を求めています。

企業経営からみたSDGs経営のポイント

企業経営におけるSDGsが持つ、「リスク」と「チャンス」を理解することが大切です。
6つの視点でご説明します。
1.小中学校や高校でSDGsの授業が始まっています。SDGsを学ぶ子どもたちを「SDGsネイティブ」と呼びます。持続可能な経営に向け、未来のお客さまの考えを経営に取り入れることは大切です。
2.大企業がSDGsを踏まえた取引先行動指針（コードオブコンダクト：COC）の発表や改定を始めています。取引先である大企業との関係強化のためにもCOCの確認は不可欠です。
3.企業の成長にはイノベーションが重要です。イノベーションの種をSDGsの中に求める企業が増えています。新商品・新サービスの開発にSDGsを活用することをお勧めします。
4.SDGsは、「あるべき姿を置き振る」思考方法である「バックキャスティング」を採用しています。中長期経営計画に「バックキャスティング」を取り入れることをお勧めします。
5.企業の成長には優秀な人材確保とモチベーションが不可欠と言えます。Z世代Ｘ世代のSDGsへの関心の高まりを受け、採用育成面でのSDGsの活用をお勧めします。
6.ESG投資の潮流を受け金融機関はSDGs推進に積極的です。金融機関との対話にSDGsを共通言語として活用ください。
最後に形ばかりの取り組みと呼ばれる「SDGsウオッシュ」にならぬようご留意ください。

ＳＤＧｓから中小企業はなにを学ぶのか（SDGsウオッシュに留意）
1．消費者行動（10年先）を予測
2．大企業（取引先）のCOCを知る
3．新商品・新サービス開発に活用
4．中期経営計画に取り込む
5．採用やアライアンスでの活用
6．金融機関との関係構築に活用する

＜始めの一歩：人事マネジメントの強化＞
運送業にとって人材採用は経営の優先課題の一つと言えます。
また2022年４月からパワハラ規制法が中小企業も対象になりました。SDGsのゴール８にある「ディーセントワーク（働きがいのある職場）」の実現がより大切になりました。
また運送業に対する残業規制が始まる「2024年問題」にも早めに取組むことが重要と考えられています。
保険による訴訟リスク対策に加えて、人事トラブルを起こさせないSDGsを踏まえた「ダイバーシティ経営」や「健康経営」の取組の重要性が増しています。

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険株式会社　Furusapo

◇希望される場合は診断結果のオンライン面談サービス（無料）を受けることも可能

◇企業の取組状況を総合的に診断することで、自社のSDGs取組における**現状の把握**と**課題の明確化**

SDGsに取り組む第一歩として、自社の現状を知る

（２）SDGsと自社の取組を紐づける～SDGsアドバイスシート

食品製造

SDGsアドバイスシート

ゴール	該当するTarget	ポイント	取組み例（アクション）	関連ツール（サービス）	関連商材
3 すべての人に健康と福祉を	3.6 道路交通事故による死傷者を半減させる	道路交通事故撲滅に向けた体制構築と安全運転の啓蒙を図る	・安全運転を励行している ・飲酒運転の撲滅に取り組んでいる ・ドライブレコーダー、バックカメラなどの安全装置を導入している	・道路交通法改正ポイント解説動画 ・安全運転管理体制整備ツール ・エコ安全ドライブ（無事故推進運動）	・テレマティクス自動車保険
8 働きがいも経済成長も	8.5 若者や障がい者を含むすべての男性及び女性の完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。 8.8 不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する	すべての人の働く権利を守り、安全安心な働きがいのある職場環境づくりを推進する	・働き方改革を推進している ・健康経営に取り組んでいる ・長時間労働の抑制に向けて取り組んでいる ・ハラスメント防止対策に取り組んでいる ・女性や障がい者、外国人（技能実習制度を含む）の雇用などのダイバーシティ経営に取り組んでいる	・メンタルヘルス簡易総合診断サービス ・「外国人労働者」対応お役立ちツール	・タフビズ業務災害補償保険（メンタルヘルスサポート、ストレスチェックサポート、） ・健康経営支援保険 ・GLTD
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる	安全・安心なテクノロジーの活用による業務効率化と質の高いサービスを提供する	・ICT等の導入に際して適切なセキュリティ対策を行っている ・個人情報を適切に管理している	・サイバーセキュリティ基本態勢診断 ・サイバー攻撃時の損害額概算算出サービス	・サイバーセキュリティ保険 ・タフビズ賠償総合保険（サイバーリスク補償特約）
12 つくる責任つかう責任	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。	少ない資源で生産性をあげ、さらには廃棄自体も減らす社会構造を構築する	・食品ロス対策に取り組んでいる ・プラスチック資源の削減・再資源化に取り組んでいる ・サステナブルな原材料調達に具体的に取り組んでいる ・環境負荷の低い代替食品の製造に取り組んでいる ・食中毒事故などの未然防止や発生時の対応マニュアルを整備している	・食品事故対応マニュアル作成支援ツール ・HACCP作成キット	・タフビズ賠償総合保険 ・生産物賠償責任保険
11 住み続けられるまちづくりを	11.5 水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす	持続可能なまちや社会を育成し、強固なライフラインを提供できる施設の整備を推進する	・防災行動計画を作成している ・事業継続計画（BCP）を作成している	・水災タイムライン策定ツール ・cmap（リアルタイム被害予測ウェブサイト） ・BCPキットくん	・企業財産包括保険、タフビズ事業活動総合保険 ・タフビズ事業用自動車総合保険（地震・噴火・津波「車両全損時定額払」特約、自然災害限定補償特約） ・近隣被災者対応費用保険
13 気候変動に具体的な対策を	13.1 気候関連災害や自然災害に対する強靭性(レジリエンス)を強化する	気候変動とその影響に立ち向かうための対策を整備する			
17 パートナーシップで目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する	地域連携・社会貢献活動の取組みを通じて地域社会に貢献する	・事業地域の関係者等とのコミュニケーションを通じ、地域が抱える課題を把握し、課題解決に資する取り組みを行っている（地域人材の雇用、地場産業の活性化、寄付等）	・ベルマーク収集取組み	・ベルマーク対象商品

◇19業種に対応

保育、介護、運送、建設、飲食、小売、
不動産、ホテル・旅館、税理士、
食品製造、製造（食品製造以外）、
保険代理店、ディーラー、整備工場、
病院、学校、サービス、IT、教習所

※あいおい社ツール（無料）

どのゴールが自社にとって身近なのか、
自社ですでに取り組んでいる課題を明確化する

（２）SDGsと自社の取組を紐づける～SDGsアドバイスシート

食品製造

SDGsアドバイスシート

	該当するTarget	ポイント	取組み例（アクション）	関連ツール（サービス）	関連商材
3 すべての人に健康と福祉を	3.6 道路交通事故による死傷者を半減させる	道路交通事故撲滅に向けた体制構築と安全運転の啓蒙を図る	・安全運転を励行している ・飲酒運転の撲滅に取り組んでいる ・ドライブレコーダー、バックカメラなどの安全装置を導入している	・道路交通法改正ポイント解説動画 ・安全運転管理体制整備ツール ・エコ安全ドライブ（無事故推進運動）	・テレマティクス自動車保険
8 働きがいも経済成長も	8.5 若者や障がい者を含むすべての男性及び女性の完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。 8.8 不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する	すべての人の働く権利を守り、安全安心な働きがいのある職場環境づくりを推進する	・働き方改革を推進している ・健康経営に取り組んでいる ・長時間労働の抑制に向けて取り組んでいる ・ハラスメント防止対策に取り組んでいる ・女性や障がい者、外国人（技能実習制度を含む）の雇用などのダイバーシティ経営に取り組んでいる	・メンタルヘルス簡易総合診断サービス ・「外国人労働者」対応お役立ちツール	・タフビズ業務災害補償保険（メンタルヘルスサポート、ストレスチェックサポート、） ・健康経営支援保険 ・GLTD
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる	安全・安心なテクノロジーの活用による業務効率化と質の高いサービスを提供する	・ICT等の導入に際して適切なセキュリティ対策を行っている ・個人情報を適切に管理している	・サイバーセキュリティ基本態勢診断 ・サイバー攻撃時の損害額簡易算出サービス	・サイバーセキュリティ保険 ・タフビズ賠償総合保険（サイバーリスク補償特約）
12 つくる責任 つかう責任	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。	少ない資源で生産性をあげ、さらには廃棄自体も減らす社会構造を構築する	・食品ロス対策に取り組んでいる ・プラスチック資源の削減・再資源化に取り組んでいる ・サステナブルな原材料調達に具体的に取り組んでいる ・環境負荷の低い代替食品の製造に取り組んでいる ・食中毒事故などの未然防止や発生時の対応マニュアルを整備している	・食品事故対応マニュアル作成支援ツール ・HACCP作成キット	・タフビズ賠償総合保険 ・生産物賠償責任保険

※あいおい社ツール（無料）

（３）SDGsの取組を内外に公表する～京都SDGsパートナー制度

京都ＳＤＧｓパートナー登録証

株式会社合通トラスコは、
ＳＤＧｓ、CO_2ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

持続可能な社会の実現にむけて、地域社会への貢献と環境保全、健康増進、そして社員だけではなくご協力いただいているパートナー企業の皆様が安心して働いていただける環境を整えることを目指し、SDGsへの重点課題を設定し、すべての従業員へ徹底をしています。

●ＳＤＧｓに関する重点的な取組●

2030年までに、2019年度比44kt-CO2排出量を中期目標に掲げ、実車率向上や、電気式フォークリフトへの代替、鉄道コンテナ輸送の活用、さらなるペーパーレスの促進、粉砕品の促進などの取り組みを行っています。また、環境力向上を図り、オンライン形式で従業員への教育・啓蒙を行い、SDGsを推進しています。

物流業という事業特性を活かし、災害時に物資などの配送支援を実施する体制を構築しています。「大阪府災害時ボランティア団体」へ登録するなど、災害発生時に地域社会と迅速に連携できるような環境も構築する取り組みを推進しています。

大阪フィルハーモニー交響楽団や女子ソフトボールチーム、岸和田だんじり祭りへの文化振興支援を配送＝リアで社員の出身地などを中心に行っています。
大阪府立の高等学校吹奏楽部への活動支援においては、活動費支援のみならず、限られた部活動の時間を有効に使えるよう出戻・時間に柔軟に対応した輸送を行っています。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

府立高等学校の吹奏楽部活動支援、地域学校への職業講話、板垣家演奏会の開催支援、文化振興支援

2022 年 6 月 30 日
（登録番号：0000Ｉ）

株式会社合通トラスコ
渡邊　泰輔

京都市長
門川　大作

◇登録事業所・団体は56社（９月末現在）
⇒　まだ少数ゆえに価値がある

◇登録によるアップ効果
対外的・・・企業ブランド力
信用力
ESG評価

社内的・・・自社方針の明確化
社員のモチベーション
人材採用力（誇りをもって務められる企業）
⇒　企業の魅力を自治体を通じて発信

取組の見える化

どうせやるなら宣言しよう！
効果は早いほど大きい！

出所：京都市情報館HP（https://www.city.kyoto.lg.jp/）

（４）社員の理解を深める～「こと：スクール」

京都里山SDGsラボ「ことす」で開催される
体験型SDGs研修プログラム

◇SDGsの課題を経営者や一部の担当部署だけで考えるのではなく、**企業文化**にまで醸成させる

◇社員ひとり一人に考えさせ、腹落ちさせていく必要あり

◇**社外研修、イベント・セミナー**への参加を積極的に推奨していく

※あいおい社でもSDGsセミナーやフォーラムを定期的に開催しています

出所：京都里山SDGsラボ「ことす」～「こと：スクール」HP（https://www.kotos-kyoto.jp/1572）

（４）社員の理解を深める～「こと：スクール」

京都里山SDGsラボ「ことす」で開催される体験型SDGs研修プログラム「こと：スクール」

出所：京都里山SDGsラボ「ことす」～「こと：スクール」HP（https://www.kotos-kyoto.jp/1572）

（４）社員の理解を深める～「こと：スクール」

京都里山SDGsラボ「ことす」で開催される体験型SDGs研修プログラム「こと：スクール」

出所：京都里山SDGsラボ「ことす」～「こと：スクール」HP（https://www.kotos-kyoto.jp/1572）

7. まとめ

まとめ

どうせやるなら、今から動き出そう！

あとからあわてて始めても、効果は小さい

小さなことから始めて、SDGsを実感してみよう！

自社の強みや特性を見つめ直し、始めやすいアクションを見つけ出す

一人で考えず、社員や社外の知恵をためらわず取り入れよう！

SDGsに取り組む仲間は志が高い！一緒に解決しようとしてくれる

ご清聴いただき、ありがとうございました

【お問合せ先】

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

京都支店　地域戦略室

京都市下京区大宮通四条下る四条大宮町2

杉田　浩昭

h-sugita@aioinissaydowa.co.jp

TEL:080-6734-6978